



連休も終わりました

4月29日(土)から5月7日(日)まで、農大稲花小は連休(休業)でした。子どもたちはそれぞれのご家族と共に、心身を休めたり、あるいは、好きなことに没頭したり、あるいは旅行などの新たな体験をしたことでしょうか。本校では連休中も毎日、少しずつでも自ら机に向かい、学習習慣を維持することを子どもたちに期待していますが、多くの課題を出すことはしない方針です。むしろ連休を、弱いところを補い、得意なことを伸ばすよい機会と考えていただくよう、保護者の皆様にもお願いしてきました。また、連休中の疲れが連休後に出たりしないよう、ご配慮もお願いしたところです。

5月8日(月)、子どもたちはリフレッシュした表情で登校してきました。早速、休み中のことを話しに来てくれる子どももいます。これから夏休みまで毎日、健康に留意して、学習に励んでほしいと願っています。

育っているかな ハツカダイコン

4月28日(金)、1年生の稲花タイムでは、「種の不思議」について校長が授業をしました。イネやトウモロコシ、マメなども種であること、イチゴやパイナップルにも種があることなどを楽しく学ぶのです。また、テラスに出てそれぞれのポットに土を入れ、ハツカダイコンの種を3粒、播きました。連休の間に芽が出たことでしょうか。ハツカダイコンは20日ではちょっと無理ですが、30日から40日で収穫することができます。お家で、楽しく味わってほしいものです。

授業の最後には、大きなマンゴーの種を見たり、熱帯の植物アルソミトラの種がグライダーのように空を飛ぶのを見たりしました。多様な種の世界に気づいた子どもたちには、食卓に上る野菜や果物も、公園の草木も、また違って見えるに違いありません。

健康観察を忘れずに

最近の本校では新型コロナウイルス感染は稀となっていましたが4月半ばからはインフルエンザウイルスの感染が増加し、2年生の2学級では学級閉鎖の措置もとりました。5月8日(月)から新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行しますが、学校という集団生活の場では、感染症対策はいつでも変わらず大切です。子どもたち、そして、ご家族の皆様にも、毎日の健康観察を続け、体調が思わしくない場合には無理して登校することのないように、引き続き慎重な判断をお願いします。さらに、毎日楽しく学校で学んだり友だちと遊んだりできるよう、家族と共においしくいただく食事、適切な睡眠時間の確保、心身のストレス除去などを含めた体調管理にも、ご配慮お願いいたします。私たち教職員も、最良の体調で子どもたちに向かい合えるよう努めてまいります。